



報道発表資料の配付日時 2月10日(水) 10時00分

発表項目 (行事名)	第9回北海道自動車安全技術検討会議の開催について	
概要	<p>○ 本検討会議は、本道のポテンシャルを活かして、交通安全や高齢者の移動支援といった社会課題の解決に貢献するとともに、研究開発面から本道への自動車産業の一層の集積を促進するため、<u>産学官の連携のもと、自動運転に関し、企業等が行う実証試験の円滑化や研究開発の促進などに資する環境整備や情報提供を行うことを目的に、平成28年6月に設置。</u></p> <p>○ 今回は、塩尻市より、オンデマンドバスと自動運転を組み合わせたMaas事業について説明いただくほか、北見工業大学より、道路に埋設したタグを無線通信で読み取って走行する雪道での自動運転の研究状況について、株式会社ヴィッツより、仮想空間で安全性を検証できるシミュレーション技術などについて説明いただく予定。</p> <p>1. 日時：令和3年2月18日(木) 14:00～16:00 2. 場所：オンライン開催 (Zoomミーティング) (事務局) TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 5階 ライラック 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館 3. 議事：別紙次第のとおり 4. 参集範囲 ・参画機関 (北海道警察本部、北海道開発局、北海道運輸局、北海道経済産業局、NEXCO東日本、大学・高専、研究機関、関係市町村、道等)、道内にテストコースを立地する企業、自動運転に関心のある企業 等</p>	
参考	・検討会議の概要は、別紙のとおり。	
報道(取材)に当たってのお願い	<p>・当日の積極的な取材につきまして、ご協力をお願いいたします。</p> <p>・当日の取材については、<u>会場・オンラインのいずれでも可能ですので、取材される場合は、2月16日(火) 15時までにご連絡ください。</u></p> <p>・新型コロナウイルス感染予防のため、会場への入室は1社1カメラ1ペンでお願いします。(受付で体温測定します)</p> <p>・入室の際は、マスク着用をお願いします。また、発熱や咳、くしゃみ等の症状のある方は取材をお控え願います。</p>	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)
担当 (連絡先)	(北海道自動車安全技術検討会議窓口) 経済部産業振興局産業振興課IT産業係(担当者：田村、金子) TEL ダイヤルイン 011-206-6756 (内線26-813)	

第9回 北海道自動車安全技術検討会議 次第

日時：令和3年2月18日（木）14:00～16:00

場所：オンライン開催（Zoomミーティング）

（事務局）

TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 5階「ライラック」

北海道札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館

1 開会

2 主催者挨拶

3 議事

（1）情報提供

① 地域課題を解決する塩尻型MaaS事業の取り組み（30分）

塩尻市役所 企画政策部 官民連携推進室 係長 太田 幸一 様

② UHF帯RFIDシステムを用いた車両位置推定と車両誘導について（20分）

北見工業大学 情報通信系 准教授 川村 武 様

休憩（換気）（5分）

③ 移動サービス向け次世代シミュレーション技術（30分）

株式会社ヴィッツ 取締役 大西 秀一 様

道路除雪作業の人員コスト削減と安全性向上を実現するIoTリスク予見システムの開発
のご紹介

株式会社ヴィッツ 基盤サービス技術開発部 部長 後藤 孝一 様

④ 令和3年度自動車関連予算について（10分）

経済産業省北海道経済産業局 地域経済部 製造・情報産業課 係長 岡部 順 様

（2）事務局からの活動状況報告（10分）

北海道 経済部 産業振興局 産業振興課長 佐藤 秀行

4 閉会

北海道自動車安全技術検討会議の概要について

1 目的

- ・本道のポテンシャルを活かして、交通安全や高齢者の移動支援といった社会課題の解決に貢献するとともに、研究開発面から本道への自動車産業の一層の集積を促進するため、産学官の連携のもと、自動運転に関し、企業等が行う実証試験の円滑化や研究開発の促進などに資する環境整備や情報提供を行う。

【本道のポテンシャル】

- ・全国最多、28のテストコースが集積。
- ・広大な土地や寒冷な気候を活かし、多様な実証試験モードの提供が可能。
- ・理系大学をはじめとした研究機関やIT企業などが集積。
- ・自動運転を取り巻く社会課題に関する多くの実証テーマが存在
→交通事故抑止、移動手段の確保（高齢者・観光客等）、冬道対策など

2 取組内容

- ①北海道自動車安全技術検討会議の開催（年2回程度）
- ②自動運転の実証試験に関するワンストップ相談窓口の運営
 - 警察庁「自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン」に基づく関係機関の事前連絡の円滑化
 - 企業の開発ニーズに応じた公道実証試験の適地選定の参考となる道路の情報提供
 - 自動運転などの自動車安全技術に関する大学等や道内企業の研究・技術シーズ等の紹介・マッチング
 - テストコースや研究開発施設の新増設に関する各種支援制度や、関係法令に関する諸手続などの紹介・相談
 - その他道内での自動運転に関する研究開発や公道試験などの相談・情報提供
 - 道内での社会実証事業の実施を希望する自動車関連企業等と、地域での実施を希望する市町村等の紹介・マッチング など

3 取組イメージ

※R3. 2月現在

